



議員 門馬 和夫

# 医療・介護の 復旧に向けて

**問** 介護施設の稼働状況や施設入居待機者などの現状や課題は。

**答** 介護床数631床あるが、入所者数は503人。待機者は70人。職員不足が原因。

**問** 准看護師が震災前403人に対し、221人と大きく減少している。双葉看護学院の再開の動きは。

**答** 相馬地方市町村会が対応する。29年度内の開設を目指して、南相馬市も対象にした形で開設場所を検討中。

**問** 小児科医・小児入院機能の確保に向け寄附講座の検討状況は。

**答** 小児科医の確保に努力している。寄附講座も検討しているが、それをやったところで厳しい状況が続いている。引き続き県立医大等との話し合いを進める。



建設が進む脳卒中センター（平成 27 年 12 月）

体制が弱っており、貴重な人材も家庭内介護で社会に出られない。本県は震災前から急性心筋梗塞や脳梗塞発症が全国で最悪。生活習慣病予防が、中長期的に最も重要と考える。

**答** 基本的には、自分の健康を自分で維持する意識が必要。さらに予防活動を市で啓発していくことで、全体的な健康増進と医療福祉体制の過度な依存を減らすことが出来る。

**問** 効果的に生活習慣病対策を実施するためには①原因分析②戦略を練る③運動の展開が大切。新たな対応・事業予算を確保すべき。

**質問を終えて**  
介護や市民の安心のためにも、「日本一の」生活習慣病予防運動が必要と再認識しました。

## その他の質問

- ① 南相馬市復興事業の進捗状況は
- ② 今後の中長期の財政環境は
- ③ 平成28年度予算編成は



議員 但野 謙介

# 復興拠点の整備に 多様な意見を

**問** 20キロ圏内における復興の全体像をどうしていくのか施設整備に向けてワークショップで出された様々な意見をどのように反映させていくのか。

**答** 復興拠点について出された意見を最終確認し、庁内で検討したい。現在予定している4回のワークショップを1、2回延長したい。長い時間使う建物なので、市内外の皆さんから愛され満足してもらえらるよう、基本設計に向けて検討する。

**問** 小高区における各種計画や地域構想、復興拠点整備の計画をいかに調整し進めるのか。ワークショップの回数を重ね、変わってきている部分もある。前を向いて新しいものを生み出し、20キロ圏内

営みを取り戻そうとする方々の期待に応える施設にしなければいけない。見解を伺う。

**答** 行政が取りまとめる総合計画に基づき中心市街地の基本構想をまとめた。これを踏まえて、復興拠点施設の基本設計に至っている。一方、それと並行し地域協議会のもとで、ワーキンググループを立ち上げ、市民の側から地域構想を描き、街なかプランにまとめた。市民側の街なかプラン



ワークショップの様子

ランと、行政の総合計画から中心市街地構想とまとめたものをあわせる形で拠点施設の構想として調整している段階。仕様書にまとめた案を、議会の皆様と議論していきたい。

**質問を終えて**  
将来にわたって地域を支える施設として、今と未来を支える計画をまとめてほしい。

## その他の質問

- ① 施設整備における財源の確保は

一般質問



志賀 稔宗 議員

# 避難指示の解除は 平成29年春に

**問** 避難指示解除に向けて課題と解決の見通しは。

**答** 除染完了が大きな課題だ。どこまで終了できるか含め、2月の市民説明会で説明したい。

**問** 来春の解除は除染等いろいろな点で無理がある。国が示す29年春を目標に、着々と準備を進める事が立派な解除に至ると考えるが。

**答** 解除目標を示さなければ市民は不安になる。来春を目標に除染を進めてきた。この前提をクリアした上で市民と懇談し国と協議する。

**問** 復興を急ぐために必ずしも解除とは思わない。準備宿泊をしながらそれぞれの家庭でも商売でも一年余かけて着々と準備を進めることでは。

**答** 何が何でも解除ありきで進んでいるわけではない。皆さんとしっかり協議の上これでもいいのか確認する。

**問** 仮設店舗ができたことは準備宿泊の段階であり、これで解除ではあまりにも乱暴では。

**答** 強い要望により小高病院を再開した。不便な点を一つ一つクリアする事が責務と考える。

**問** 生活再建のための賠償、生活支援としての税減免、医療・高速道無料等は避難指示により、程度に差はある

**答** 全市的问题であり、圏外の固定資産条例減免等実施の上、国に対して強力に要請する。

**問** その他の質問

① 鹿島区市街地県道の振動防止対策を

② 老朽空き家対策の充実を

③ 「いじめ防止条例」の制定により対策強化を

モニタリングの様子 (小高区川房地区)



## 質問を終えて

市民の安心のため、除染状況を目で確かめられるガンマカメラの導入は画期的。

## 福島県市議会議長会の要望事項について

福島県市議会議長会は、平成27年11月26日、国・県に対し下記の要望を行いました。



### 要望内容 (要旨)

#### 主要地方道・福島県道 12号原町川俣線及び 34号相馬浪江線の整備促進について

(県道12号原町川俣線および県道34号相馬浪江線について、地域高規格道路として整備することを強く要望。)

#### 東日本大震災・原発事故被災者に対する支援について

(帰還の促進へ向け、帰還した際の生活再建に向けた新たな支援策として、避難指示解除準備区域の市民に支払われる賠償金に整合する(仮称)生活再建支度金等の支給について強く要望。)

#### 有害鳥獣処理施設の設置及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動に対する支援の継続について

(有害鳥獣被害対策実施隊の負担を軽減するため、有害鳥獣専用の処理施設を設置すること。及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動に対する支援について、今後も継続して実施することを要望。)